

# 平成27年

# 年頭のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、希望に満ちた新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、国内では2月の大雪による被害、台風18号・19号をはじめとするゲリラ豪雨など、異常気象による災害に見舞われましたが、ソチ冬季五輪での日本選手の活躍、ユネスコの世界文化遺産への「富岡製糸工場」の登録、青色LED開発により「ノーベル物理学賞」が3人に贈られるなど、明るい話題などもありました。

にみ会」などの新規事業も進めてまいりました。あわせて、「義経まつり」、「イルミネーション」、「ビッグツリー」などの元気活力事業にも積極的に取り組んでまいりました。

このような中、国見町が「東日本大震災」や「原発事故」からの早急な復興・復興を加速し、安全・安心で明るい魅力ある町をつくりあげるため、町民の皆様、関係団体の皆様とともに、一丸となって復興・再生へ向けて進めていくことが、私の使命であると考えているところであります。

などの各種戦略づくりなど、今やらなければならぬ「まちづくり」や「交流人口拡大」に直結する事業を重点的に進めてまいりたいと考えております。

今後ともこれらの事業を推進していくためには、町民の皆様のご理解とご協力が必要不可欠でありますので、皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、今年が皆様にとって良い年でありますよう心よりご祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。

私が町長に就任いたしました。2年1月が経過いたしました。これまで、「国見のみらいをつくる5つの目標」を掲げ、東日本大震災、原発事故からの復旧・復興や元気活力事業などを実施してまいりましたが、住宅・宅地除染につきましては、今年度1500戸を目標に予定通り進んでいるところであり、県北浄化センターの汚泥問題につきましても、関係する皆様のご理解によりまして、全量搬出に向け、仮設の汚泥乾燥施設の建設が進んでいるところであります。また、賠償問題につきましても一定の前進が図られたところでございます。

平成27年は、「東日本大震災からの復旧復興」「安全安心」「元気活力」「思いやり」「国見町の継続的な維持発展」の5つの目標をベースとし、住宅除染推進、風評被害対策、空き家対策などの防犯対策、農商工の振興対策、元気活力につながる事業やイベントの実施、町内外への情報発信や交流人口の拡大の強化、少子高齢化社会を見据え様々な対策を講じるとともに、スポーツ・文化の振興などにも対応してまいりたいと考えております。

また今年には、再建する役場庁舎の竣工を控え、「国見町生誕60周年記念事業」、平成28年度中にオープン予定の「(仮称)里まち文化ステーション(道の駅)整備事業」や「歴史まちづくり事業」などにより、町としての基盤をしっかりと創りあげるとともに、未来へと維持発展させるため、地方創生



平成27年1月  
国見町長  
太田 久雄